

號 13



# 國民食糧の現狀

—水產食糧に關するもの—



日本學術振興會

昭和 14 年 2 月

定價 1 冊 6.0 銭

日本學術振興會 東京市麹町區霞ヶ関・文部省内  
電話銀座(57) 5252-5452

總裁 秩父宮雍仁親王殿下

會長 公爵近衛文麿

理事長代理 財部彪

總務部長 財部彪

學術部長 長岡半太郎

設立 昭和7年12月28日

目的及事業 本會ハ學術研究ヲ振興シ其ノ應用ヲ圖リ文化ノ進展産業ノ開發國防ノ充實ニ資シ國運ノ興隆並人類ノ福祉ニ貢獻スルヲ以テ目的トシ之ヲ達成スル爲次ノ事業ヲ行フ

1. 研究ニ關スル諸般ノ調査ヲ爲スコト
2. 學術並其ノ應用ノ研究ニ對シ各種ノ援助ヲ爲スコト
3. 有爲ナル研究者ノ養成ヲ援助スルコト
4. 聯合研究ヲ獎勵援助スルコト
5. 重要問題ノ研究状態ヲ調査シ其ノ解決策及之ガ實行方法ヲ講ズルコト
6. 發明考案ノ產業化ヲ獎勵援助スルコト
7. 學術探検旅行費ノ補助ヲ爲スコト
8. 學術文獻ヲ出版シ又ハ出版費ノ補助ヲ爲スコト
9. 必要ニ應ジ研究並產業化其ノ他ノ試験ヲ行フコト
10. 其ノ他理事會ニ於テ適當ト認ムル事業ヲ行フコト

### 組織

#### 總務部

總務課——庶務 會計

調査課——調査 普及

研究ニ關スル各種ノ調査、研究ノ獎勵普及並研究ノ便益増進、參考資料ノ蒐集編纂出版及配布、報告及統計、研究成果ノ產業化、考查委員會、事業ノ連絡ニ關スル事項、圖書ノ保管ニ關スル事務

#### 考查委員會

國民體力問題考查委員會

體育委員會 | 衣住委員會  
優生委員會 | 食糧委員會

## 學術部

學術部=於テハ援助及補助ノ審査、研究及試験ニ關スル事項、研究業績ノ處理、  
學術部各種委員ニ關スル事項

### 常務科

#### 特別委員會

- |                               |                                   |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 第 1 法律 政治                     | 第 7 動物學 植物學 人類學                   |
| 第 2 哲學 史學 文學                  | 第 8 醫學 衛生學                        |
| 第 3 經濟學 商業學                   | 第 9 應用物理學 機械工業 船舶工業 航空機工業 探鐵學 冶金學 |
| 第 4 數學 物理學 天文學 地球物理學          | 第10 應用電氣學 電氣工業                    |
| 第 5 純正化學 應用化學 藥學 農藝化學<br>化學工業 | 第11 土木學 建築學                       |
| 第 6 地質學 地理學 海洋學               | 第12 農學 林學 畜醫學 水產學                 |

#### 常置委員會

- |                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| 第 1 政府關係方面トノ連絡學術關係一般調査出版   | 第 3 太平洋島嶼長期昇降ニ關スル研究 |
| 第 2 滿洲農業移民問題並滿洲及北支ニ於ケル資源研究 | 第 4 災害科學研究          |
|                            | 第 6 植物纖維原料の調査研究     |
|                            | 第 7 航空燃料の研究         |

#### 小委員會

- |                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 第 1 無線裝置研究                       | 第18 電氣材料研究               |
| 第 2 本邦及滿洲金屬礦床ノ研究                 | 第19 特殊鋼材ノ製造ニ關スル研究        |
| 第 3 流行性腦炎ノ研究                     | 第20 東北地方民衣食住改善           |
| 第 4 電氣熔接ニ關スル研究                   | 第21 自作農業研究               |
| 第 5 腐蝕防止ニ關スル研究調査                 | 第22 體力研究                 |
| 第 6 磨耗機器ノ研究                      | 第23 中小工業ニ關する研究           |
| 第 7 トロコーマニ關スル研究                  | 第24 儲物研究                 |
| 第 8 結核豫防研究                       | 第25 金屬材料ノ疲勞              |
| 第 9 明治以降立法資料蒐集編纂                 | 第26 優生遺傳研究               |
| 第10 宇宙線原子核                       | 第27 衣住問題研究               |
| 第11 南洋ニ於ケル熱帶生物研究……パラオ<br>熱帶生物研究所 | 第28 北支及滿蒙開發ニ必要ナル衛生學的調査研究 |
| 第12 有機合成研究                       | 第29 精密機械                 |
| 第13 觸媒研究                         | 第30 メタリックパッキン            |
| 第14 耐震構造ニ關スル研究                   | 第31 合成ゴムノ綜合研究            |
| 第15 瘟鼠問題ノ研究                      | 第32 防空科學ノ綜合研究            |
| 第16 國民榮養基準ニ關スル研究                 | 第33 現地ニ於ケル構築材料ノ利用        |
| 第17 日本古典藏書                       | 第34 ガラス及耐火物ノ研究           |

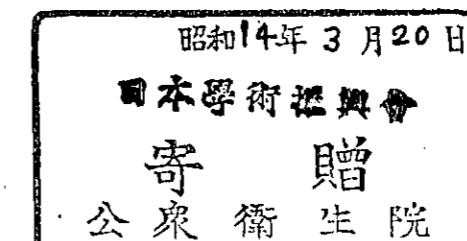
物理探鐵試驗所 地球物理學的方法ニ依ル探鐵法及地質調查法ノ試驗ヲナス

#### 災害科學研究所 (大阪)

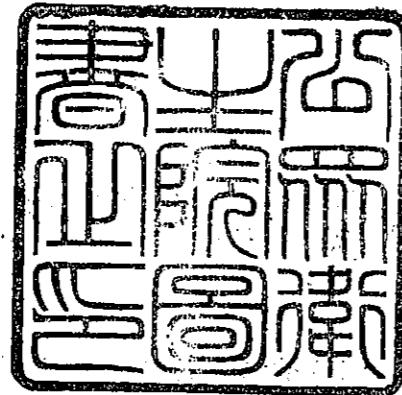
- |                    |
|--------------------|
| 第1部 災害ニ關スル地球物理學的研究 |
| 第2部 災害ニ關スル理工學的研究   |

## 國民食糧の現狀

### —水產食糧に關するもの—



1Q  
A  
25



## 例　言

- 一、本書は國民體力の向上と保健狀態の改善に關する資料として、農林省水產試驗場に於て、水產食糧に關する下記事項を、各種の統計・記錄及試驗調查報告等に付き、夫々所要目的に照らし適當に取捨抜萃の上輯錄したものである。
- 二、第一章及第二章に於ける數量は、参考資料の單位が區々なるものを悉く貫建に換算したものであり、第三章以下に於ける文獻資料中の單位は原文の儘である。
- 三、本書は「國民食糧の現狀」第二冊である。第一冊は「社會經濟並に保健に關するもの」(既刊) 第三冊は「農產食糧に關するもの」(近刊) である。

## 序

國力の伸張は畢竟國民の勤勞の結果であつて、國民の勤勞は其の健康を根源とするが故に、國民の健康を維持進展せしむることは、國力發展の源泉を涵養するものと言はねばならぬ。國民の健康を維持進展せしむる爲には、其の生活の向上強化を圖らねばならぬ。蓋し健康は生命存續の姿であり、生命の維持は其の基礎を生活の上に置くが故である。

個々の生活の有機的結合としての社會生活の様相は、其の文化、經濟の發展程度に從て變遷し、個人の健康の標準は其の時代に於ける社會の一般體制に屬する生活に適應する程度の上に定めらるべきである。而して吾人の健康は物的生活の上に立つと同時に、精神的生活の上に立つが故に、衣食住の缺乏が生命的存續を許さぬ如く、精神生活の弛廢が亦大に健康を害ふと言ふを俟たぬ。

而も文化の進展は吾人の生活内容を向上進歩せしめ、今や體育は國民各個の心身強化の重要手段として、又優生學の法則の考慮は無限に生成發展する國的生命を向上せしむる上に於て、必ずや共に吾人の生活内に採り入れられねばならぬ。

斯くして國民保健の問題は其の時代に於ける文化と經濟の一般的なる體制を前提とし、國家社會に於ける各種職業に亘り、精神的、物質的生活の本質を極め、夫々の生活方式の合理化と其の向上強化の手段を研究すると共に、生活資材の生産、分配、利用に付最も有效なる方策を得んことを要求するものである。

即ち保健問題の研究に於ては、生活關係の事象を對照とし、精神的方面と物質的方面とを併せ考査しつつ、體育、優生、衣、食、住の方面より之を觀ることを要する。而して此等の個々の研究を綜合して初めて結論に到達すべきである。

國民保健の問題に關して、日本學術振興會國民體力問題考査委員會内に優生、體育、衣住、食糧の4委員會が設置せられたる所以も、亦茲に存する事と信する。

食糧委員會の研究は、斯かる研究の一部であつて、食糧の觀點よりする國民保

險の問題を其の対象とするものである。從て此の範圍に於ては、當然國民栄養の向上を本とし、之が爲に食糧の質的及量的方面に亘り、其の供給、分配及利用の方策が攻究せられねばならぬ。乃ち食糧委員會は如上の前提の下に帝國國民保健問題を攻究するものであつて、帝國に於ける食糧の生産状況を調査し、其の全體的、階級的、個人的消費の状況を検討し、其の齋らす栄養が國民の健康に及ぼせる影響を精査し、進んで之が改善の爲に採らるべき方策を探究せんとするものである。

右の趣旨に依り、食糧委員會は昭和 12 年 5 月第 1 回會議を開催し研究の方針、議事進行の方法を決定した。研究方針としては、先づ我が國に於ける國民食糧と國民保健の現状を、醫學的、社會經濟的及產業的視野より調査研究し、之に基き適切なる施設方策を探究することとし、議事進行の方法としては、先づ研究項目を決定し、各委員は夫々項目を分擔し、委員會に於て其の研究の結果を綜合審議し成案を得ることとした。

同年 6 月 22 日開催せられたる第 2 回會議に於て研究項目が決定し 6 月 28 日第 3 回會議に於ては、研究項目を農業關係、栄養生理及醫學關係、社會經濟關係の三部門に分類し部門毎に小委員會を設置することとし、各委員は専門に從て各部門に於て擔當項目の研究をなし、尙各小委員會に報告者（取纏委員）を置くこととなつた。第 3 回會議以來、各委員は隨時各部門小委員會を開催して互に連絡しつつ研究調査を進め來つたのであるが、栄養生理及醫學關係、社會經濟關係の兩部門に於ては、既に國民食糧の現状に關する調査研究を完成した。

而して右研究報告書は、前部門に付ては眞嶺義等委員、後部門に付ては清水玄委員に依り便宜上兩部門のものを一括して國民食糧の現状（社會經濟並に保健に關するもの）として作成せられた。

社會經濟關係栄養生理及醫學關係に於ける現状研究の結果に依れば、我國に於ける關係科學研究の進歩せるに拘らず、一般民衆の食糧攝取の状況は甚だ合理的ならざるものがあり、尙社會各層に於ける職業的、經濟的諸條件が、國民食糧の質量に付、其の需要形態を羈束するものあるに依り、相當國民保健に影響を與へ

つつあることが認められたのである。

農業關係部門に於ける現状の研究調査は其の後完成したものであるが該調査の報告書は便宜上水產に關するものと農畜產に關するものとに分ち前者は春日信市委員に依り後者は森肆郎委員により作成せられた。

農業關係部門に於ける現状の研究調査によれば我國に於ける自然條件が水產食糧に於て豊多なる給源を國民に與へ農畜產食糧に於ては、限られたる地域に於て最も有利なる食糧を最多に生産する方法を國民に教へたこと並に之が國民生活の態様を羈束し來つた事實を知ることが出来る。

尙本研究の結果統計資料の不備なるに拘らず或程度に各資源に付ての生産消費の状況が明かになつたのみならず各資源の栄養上の性質及價値が明瞭にされたのであつて此等の調査の結果は現代日本の國民保健の問題に關し食糧の生産、配給、利用上改善を要すべき幾多の施設制度の存することを暗示するものである。

而して斯の如き事實の認識は、食糧委員會が本問題に付引續き研究を進めんとする改善方策の根據となるものであると信ずる。

昭和 13 年 10 月

日本學術振興會  
國民體力問題考查委員會  
食糧委員會 委員長 松井 春生

# 水産食糧の現状

(國民體力問題考査資料)

## 目 次

### 例 言

#### 水産食糧の現状に関する総括的見解

第一章 内地に於ける水産物の需給の状況並に其の傾向	1
第一節 水産食糧生産の現状	1
第1表 内地に於ける魚介類生産高表	1
第二節 内地に於ける食用水産物生産高累年比較	3
第2表 (A) 内地に於ける食用水産物生産高累年比較表	3
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	4
第3表 内地に於ける食用水産物生産高明細表	5
第三節 水産物輸出高累年比較	10
第4表 (A) 水産物輸出高累年比較表	10
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	11
第5表 水産物輸出高明細表	12
第四節 水産物輸入高累年比較	21
第6表 (A) 水産物輸入高累年比較表	21
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	21
第7表 水産物輸入高明細表	22
第五節 水産物移出高累年比較	25
第8表 (A) 水産物移出高累年比較表	26
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	26
第9表 水産物移出高明細表	27
第六節 水産物移入高累年比較	32
第10表 (A) 水産物移入高累年比較表	32
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	33
第11表の1 水産物移入高(朝鮮、臺灣)明細表	34
第11表の2 水産物移入高(樺太、南洋)明細表	41

第七節 内地に於ける食用水産物總消費高累年比較	46
第12表 (A) 内地に於ける食用水産物總消費高累年比較表	46
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	46
第八節 内地に於ける食用水産物總消費高可食分量累年比較	47
第13表 (A) 内地に於ける食用水産物總消費高可食分量累年比較表	47
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	47
第九節 水産食糧消費の過去及現在(以上統計の總括)	48
第14表 水産食糧消費の過去及現在(總括表)	50
第十節 附 表	51
第一、(A) 内地に於ける食用水産物消費高中食用、非食用別、累年比較表	51
(B) 同、最近、10年前、20年前の5ヶ年毎の平均値比較表	51
第二、非食用物算出基礎	52
第三、可食分量及原料算定規準	53
第四、罐詰換算規準	54
第五、鮮魚介、製品、換算規準	54
文 錄 目 獻	
<b>第二章 食用水産物の製造加工、貯蔵、配給(移送)の状況</b>	55
第一節 食用水産物製造別調	55
第15表 製造利用別による食用水産物の製造加工、貯蔵、配給(移送)状況表 況表(昭和10年)	57
第二節 食用水産物魚種別調	58
第16表 魚種別による水産物の製造加工、貯蔵、配給(移送)状況表 (昭和10年)	59
第17表 魚種別による水産物の製造、加工原料一覧表(昭和10年)	64
第三節 食用水産物の配給状況	66
一、東京魚市場に集散する魚介類数量	66
二、五大都市に集散する魚介類比較	70
三、大阪中央市場に於ける鮮魚介取扱及魚種別賣上高	71
四、神戸中央市場に於ける鮮魚介及鹽干魚取扱高	71
<b>第三章 水産物及其の製品の貯蔵並に移送に關する資料</b>	73
第一節 食鹽に係る水産物の貯蔵	73
一、魚肉の鹽藏効果と鹽の品質との關係	73
二、海水及食鹽中に存在する特種微生物の鹽藏食品に及ぼす影響	73

三、用鹽と浸透鹽量	73
四、鹽藏率に就ての化學的研究	74
第二節 干燥に依る水産物の貯蔵	75
一、普通培乾と濕乾による鹽藏の比較	75
二、淺草海苔の貯蔵	75
第三節 罐詰に依る水産物の貯蔵	75
一、蟹罐詰製造に關する研究	75
二、罐詰内容物に於ける熱傳導度の狀態	76
三、罐詰包裝用硫酸紙	76
第四節 冷溫に依る水産物の貯蔵及運搬	76
一、氷の使用による鮮魚の貯蔵及運搬、冷藏船及冷藏庫	76
二、冷造運搬船及冷藏庫に依る鮮魚の運搬及貯蔵	77
三、冷藏貨車に依る鮮魚の輸送試験	77
第五節 水産物及其製品の貯蔵並に移送に關する文獻目録	78
<b>第四章 保健栄養問題に關する資料</b>	80
第一節 水産物の普通成分及栄養價	80
一、魚介藻類の普通成分及カロリー	81
二、水産食品と他食品との蛋白質含有量比較	84
三、消化率比較	84
四、可食量比較	84
五、魚油の成分	94
六、鯨油の成分	95
第二節 水産物に含む各種ビタミン量及其利用程度	96
一、水産動物油特に肝油の栄養價	97
二、マグロ肝油の成分	98
三、主要肝油	104
四、サケ魚油中のビタミン A. D.	104
五、イワシ魚油中のビタミン	105
六、海藻中のビタミン B	106
七、海藻中のビタミン類	107
第三節 水産物中の蛋白質の栄養價並に無機物質の種類及び含有量	108
一、水産物中の肉蛋白質の栄養價	108
(1) 諸種蛋白質及脂肪類の栄養價	108

(2) 肉蛋白質の組成	110
(3) 鮑の肉蛋白質	112
(4) 動物肉蛋白に就て(魚類の雌雄肉蛋白質の相違)	112
(5) 魚介肉蛋白の栄養價比較	118
(6) 肉蛋白の生長助成能力とそのリデン含有量との関係	118
(7) 明太魚の栄養價値	119
(8) 生鮓並に製品の栄養價	119
(9) 魚肉蛋白中の主要アミノ酸の栄養價	120
二、水産物中の無機物質の種類及量	121
(1) 魚肉中の無機物	121
(2) 海藻中に於ける沃度の分布	122
(3) 沃度の栄養に及ぼす影響	123
(4) 海産魚介類中の沃度含有量	127
(5) 淡水産魚介類中の沃度含有量	132
(6) 日本食品中の銅及鐵分析表	138
(7) 海産動物中の銅及亜鉛含有量	140
(8) 水産物中のアルミニウム及鐵分	140
(9) 日本食品中のマンガン含有量	141
第四節 水産物の各種貯藏の方法と栄養價の變化	143
一、冷蔵又は冷凍に關するもの	144
(1) 肉類の冷凍に於ける既往の研究	144
(2) 冷凍、冷蔵魚肉の組織的變化	146
(3) 冷凍、冷蔵魚肉の化學的變化	148
(4) 冷蔵肉融解後の自家消化	150
(5) 常温並に低温(凍結)に於ける鮪肉の變化	152
(6) 鮮肉冷蔵中に於ける脂肪及グリコーゲンの變化	153
二、罐詰に關するもの	154
(1) 罐詰肉の栄養價値	154
(2) 罐詰肉のビタミン	156
三、其の他の製品に關するもの	157
(1) 生鮓並に製品の栄養價値	157
(2) 魚類の乾燥貯藏とビタミンD	157
第五節 水産物の加工製造方法と栄養價の變化	158
一、調理による食品組成の變化	160

(1) 各種調理の食品成分上に及ぼす影響	160
(2) 鮒及鰆の灰分に關する實驗的研究	183
(3) 鮓及鰆の脂肪に關する實驗的研究	190
(4) 料理による原肉の變化	194
(5) 鹽藏魚肉の鹽抜による變化	195
(6) 水晒による變化	196
(7) 無駄なき料理	196
二、製造加工に於ける場合	199
(1) 魚肉の酸度と取扱い	199
(2) 水晒による魚肉重要成分の損失	199
(3) 鹽藏の魚肉に對する影響	199
(4) 干燥による栄養價の變化	200
(5) 燻製による場合の變化	200
(6) 鰹節加工による場合	202
(7) 罐詰に關するもの	202
(8) 田鶴の栄養に關する試験	205
(9) 酒精脱臭魚粉末の栄養價	205
第六節 漁夫の保健狀態	209
一、生活狀態調査	210
(1) 山形縣豊浦村漁夫生活狀態	210
(2) 静岡縣本益津村の住民生活狀態	225
(3) 農漁業者住宅調査	229
二、保健衛生實地調査	230
(1) 兵庫縣保健衛生實地調査	230
(2) 福岡縣農村保健衛生實地調査	237
三、漁村の青年	243
(1) 壯丁の優良なる原因	243
(2) 漁村道場	260
(3) 體格の相違	260
第七節 水產食糧と栄養	263
一、栄養學の進展と食糧品の變遷	263
二、肉食增加と肉類の栄養	264
三、水產物による栄養改善の事例	266

第五章 安價にして而も大量に供給し得べき動物性蛋白質の給源及 之が加工製造並に配給に關する資料	268
第一節 現在供給し得べき鰯、鰈、鯖、鯛の見込數量	268
第二節 價格を昂騰せしめずして將來供給し得べき最大見込量	270
第三節 大衆向製品の加工製造方法	270
第四節 大衆向き安價配給方法	270
第六章 水產食糧の一人當り並に一消費單位當り消費量に關する資料	271
第一節 1消費單位當り1日の理想的水產食糧所要量	271
第二節 消費單位	271
第三節 鮮魚介生食量	272
第四節 一人當り魚介肉消費量の變遷	274
第五節 農家の水產物消費高	274
第六節 大阪市民一人1日當り魚介類消費量	275
第七節 農漁山村に必要なる魚肉理想供給量	275
第八節 30年後に於ける畜產食糧品の需給	276
第七章 人口増加に伴ふ水產食糧の供給増加要求量に關する資料	278

## 水產食糧の現狀に關する見解

## 水産食糧の現状に関する見解

魚介藻類は古代より各國人が食物として廣く用ひて來たところであり、殊に我國民に取つては重要な食品であることは論ずる迄もない。抑々完全に榮養の目的を達する爲めに必要な食糧は、質の良い動物性のものと、無機物其他の保生物質に富む植物性のものとであり、然も共に消化吸收率の高いものであることを不可缺の條件とする。而して此の動物性のものに魚介類が最も適當であることは多くの科學的調査研究が證明してゐるところである。即ち

- (1) 魚介類は近代の精細なる研究によれば、從來の學説は幾分之を改訂する必要があり、實は濃厚なる蛋白質の給源である。
  - (2) 其の蛋白質は動物の發育、人體の構成等に必要なアミノ酸を相當量含有し、而も消化吸收率は高くして其の榮養價は鳥獸の蛋白質に劣らない。
  - (3) 魚介類の油脂亦現に其の儘で或は加工して立派に食用化されてゐる。
  - (4) 魚介類の肉殊に内臓等の中には人體に必要なビタミン(A, D)又はホルモンを比較的多量に含んでゐる。
  - (5) 魚介藻類中には現在榮養上必要と見做されてゐる殆んど總ての無機物が比較的豊富に含まれてゐる。
- 纏つて之等水產物の生産部門たる我國の水産業を顧るに、

當局の積極的政策宣敷しきを得たると之に從事する漁業者の勇敢無比なる努力とによつて、明治末年以來顯著なる發達を致し殊に近年に至りては倍々其度を高め生産量は夥しく増大し、國內の消費を充すは勿論其製品は廣く且つ多量に海外に輸出され、吾國重要輸出品中に列し、國際貿易上に重大なる役割を演してゐる。

蓋し魚介類は我國民に取りては最も大切な動物性蛋白質の給源であると共に他の動物性の食糧に比較して概ね安價であり且つ料理が容易である。大正7、8年頃から國民の生活状態が向上し更に栄養知識が幾分普及されて來た爲めか一般的に食質が改善され動物性食糧の消費が急に増加して來たが、之に伴つてか大正9年を轉機として魚介類の消費率が著しく高まつて來たのは實に奇異に感せらるる程である。

斯く我國民の栄養は全般的に見て改善され又栄養源たる魚介類の生産逐年増加して來たが、夫れでも尙ほ國民體位の向上を期するに付き最も必要な動物性蛋白質の攝取量に不足する者が到る所に多いのは事實であり、殊に農山村及び收入少額者に於て顯著である。

如斯は蓋し動物性蛋白質に富む魚介其他食糧品の配給方法の不備なるが爲めであり、又大衆向食糧品たらしむる加工製造方法の研究が不充分であり、更に國民の栄養食に關する理解が足りない爲めに因ると思惟せらる。即ち栄養食に依て國民體位の向上を企圖するが爲めには之等の缺陷を補ふべき諸々の施設をなす事が先決の問題であり、目下の急務である。

## 第一章

### 内地に於ける水產物の需給状況並に其の傾向

#### 第一節 水產食糧生産の現状

我國食糧消費の現状を觀るに水產食糧（魚介藻類）を消費する量の甚だ大なるは一特色であり、獸鳥肉類消費の10倍以上に達して居る。即ち水產食糧は國民に動物性蛋白質の大部分を供給しつつある次第で、斯の如きは他の諸外國に其の比を見ざる所である。我國民は古來より水產食糧品から動物性蛋白質を補給されて居た、之は我國が四面環海で海より食糧を得るに便利な環境にあつた許りでなく、水產物採捕に就いては先天的に世界の何れの國民も學ぶ能はざる技能を有して居たが爲めである。從て水產食糧の生産額も依然世界に冠たるものがある。即ち漁獲高は内地のみにても10億萬貫を超へ、殖民地生産額を合計すれば全世界漁獲高の5割以上を占めて居り、之に從事する漁民は150萬人にして全世界の7割を占て居る。農林統計に依る最近（昭和10年度）に於ける水產食糧生産の概要は次の通りである。

(イ) 内地に於ける水產物生産高は1,002,745,119貫に達す。（第1表）

(ロ) 生産數量の順位は、イワシ、コンブ、タラ、サケ、ニシン、サバ、カツオ、マス、カレイ、ヒラメ等である。（第1表及第1圖）

(ハ) イワシは總漁獲高の3割6分強で水產食糧としては最も重要な地位を占めて居る。（第1圖）

(ニ) コンブ、タラ、サケ、ニシン、マス等寒冷地帶に產するものの漁獲量は他に比較し多大である。（第1表及第1圖）

(ホ) 漁獲物を原料とする水產製品の總額は265,679,434貫であり、其の内肥料及魚油等の如き非食用のものが約半數132,008,448貫を占め、食用のものは133,670,686貫（罐詰を含まず）である。

以上は生産の方面より觀た數字であるが、水產物を食用品、非食用品に利用せる實際の方面より検討するに、其の結果は大要左の如である。

第1表

内地に於ける魚介類生産高表

種名	数量(貫)	百分率
イワシ	367,370,063	36.64%
コンブ	88,912,845	8.87%
タラ	61,169,078	6.10%
サバ	48,015,970	4.79%
マス	30,427,070	3.03%
カツオ	24,691,184	2.46%
サリ	19,435,829	1.94%
カキ	19,103,124	1.91%
カレイ、ヒラメ	18,928,942	1.89%
マグロ	18,260,470	1.82%
マス	15,153,936	1.51%
カサメ	13,567,689	1.35%
サケ	11,540,513	1.15%
タラ	11,194,445	1.12%
バガニ	10,967,246	1.09%
小計	758,468,404	
其	244,276,715	24.33%
総計	1,002,745,119	

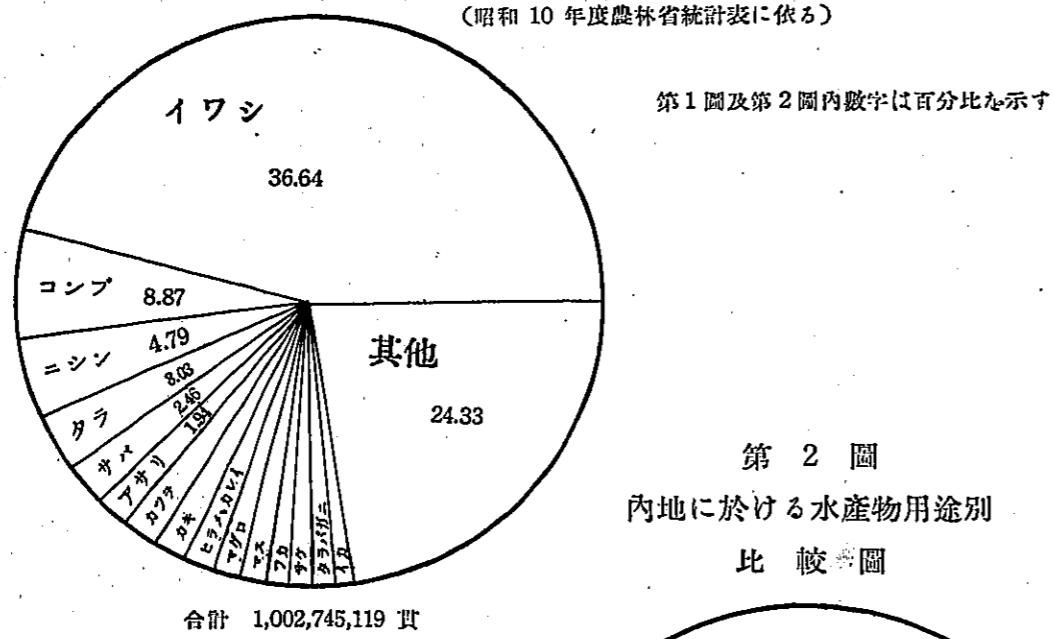
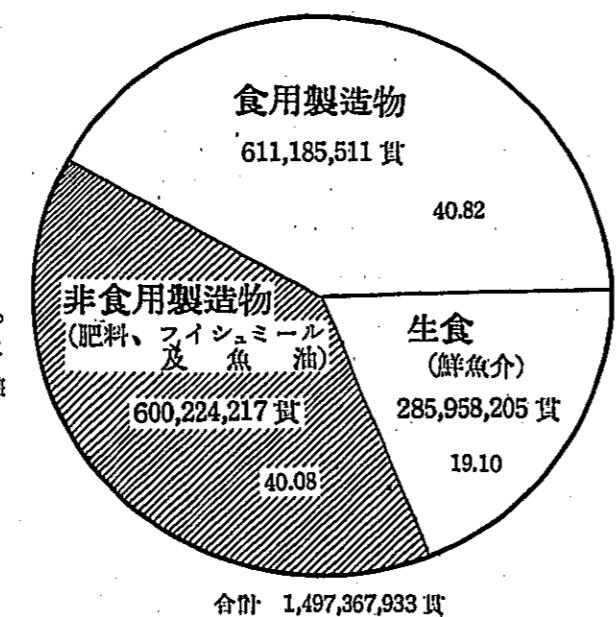
備考 1. 昭和10年度農林省統計表に依る。

2. 本表の数字は沿岸漁獲物、内地沖合遠洋漁業、水產養殖、汽船ドロール漁獲物、母船式鯨類漁業、母船式蟹漁業、汽船捕鯨漁業を合計したものである。

水産製造額 265,679,434 貨を其の原料に換算すれば 1,211,408,728 貨 (内食糧 611,184,511 貨、肥料其他 600,224,217 貨) となり、第1表の水產生產高に比し、108,663,609 貨の超過を示す。(第2章第3節参照) 従て農林統計(昭和10年)に依る水產生產高 1,002,745,119 貨を全部製造原料と做しても猶ほ 108,663,609 貨の原料の不足を來すこととなり、更に魚介類にして生鮮の僅消費するもの 285,958,205 貨(魚市場其他に依り調査)が生産されて居る理である。如上の事實を綜合考察するに内地に於ける水產物の生産量は 1,497,367,933 貨にして、内食糧品製造原料 611,185,511 貧、生食のもの 285,958,205 貧、肥料、魚油等非食用のもの 600,224,217 貧と推定するを妥當とする。(第2圖参照)

第1圖 内地に於ける魚介類生産高魚種別圖

(昭和10年度農林省統計表に依る)

第2圖  
内地に於ける水產物用途別  
比 較 圖

## 第2圖 説明

1. 食料 897,143,716 貧、非食料 600,224,217 貧。
2. 食用製品は醸造、鹽干魚、漬物等の原料に換算せるもの。(昭和10年農林省統計及醸造時報に依る)
3. 生食は魚市場其他に付き調査せるもの。
4. 非食用製品は夫々原料に換算せるもの。

## 第二節 内地に於ける食用水產物生産高累年比較

一、明治44年より昭和10年に至る25年間の内地に於ける食用水產物生産状態は第2表及第4圖表に示す如く、累年増加の傾向を示しつつある。

即ち全量に於て明治44年に於ては3億7千餘萬貨なりしものが、累年増加し、昭和10年に於てはその約二倍半額の10億3百萬貨弱となる。

右25ヶ年間に於て5年毎の増加率を見るに大略 1:1.5:2.5 の割合となる。即ち

(イ)	自明治44年 至大正4年	5ヶ年	平均	1
(ロ)	自大正10年 至大正14年	5ヶ年	平均	1.5
(ハ)	自昭和6年 至昭和10年	5ヶ年	平均	2.5

二、一方右期間の人口増加率は 1:1.1:1.3 の割合で、食用水產物の増加の傾向は、人口増加率よりも大なる傾向を示してゐる。

第2表 (A)

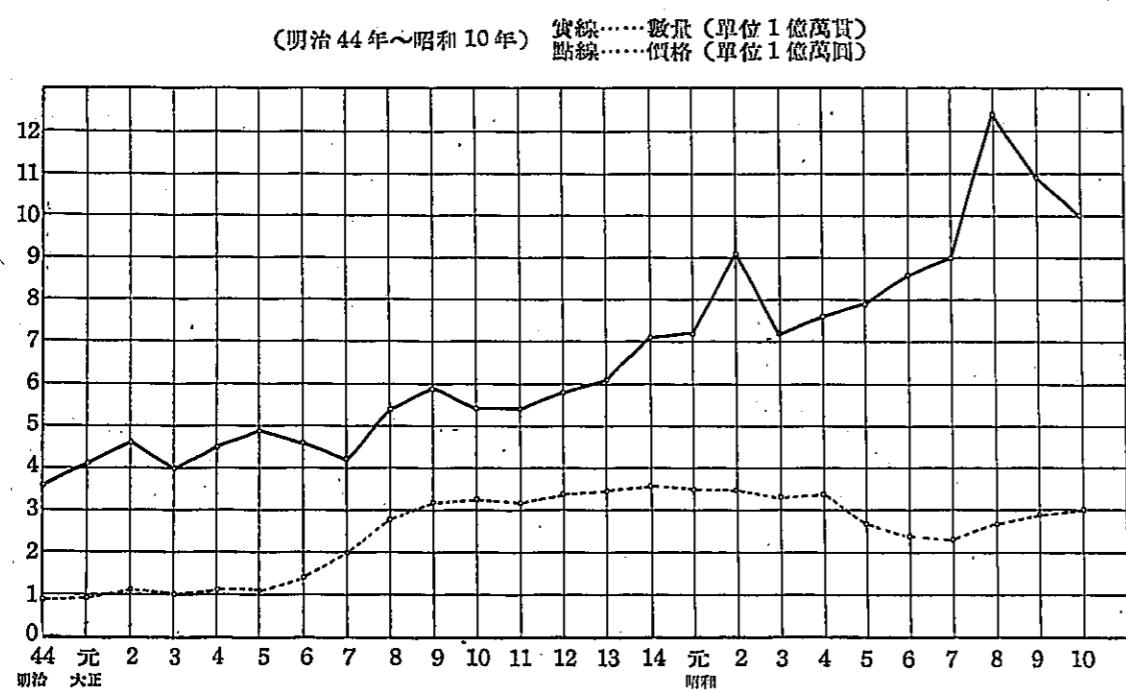
内地に於ける食用水產物生産高累年比較表

年次	全量(貨)	可食量(貨)	價格(円)
明治44年	360,607,789	172,873,639	88,443,454
大正元年	409,498,803	197,001,372	94,005,157
大正2年	463,276,971	224,161,156	110,404,813
大正3年	402,321,533	191,369,762	97,642,948
大正4年	452,983,792	217,481,893	105,556,449
大正5年	489,430,538	237,111,792	113,964,694
大正6年	459,676,827	220,830,934	142,774,680
大正7年	423,004,533	200,973,195	204,173,152
大正8年	537,869,119	254,747,182	280,006,746
大正9年	588,948,614	279,221,699	319,931,034
大正10年	538,492,051	255,037,723	328,502,583
大正11年	540,787,983	262,481,373	315,008,823
大正12年	583,552,005	285,120,688	339,954,981
大正13年	605,397,184	295,243,483	345,817,061
大正14年	712,729,581	346,420,807	359,135,818
昭和元年	715,629,855	349,047,905	345,673,531
昭和2年	910,704,591	456,258,378	349,513,744
昭和3年	722,796,155	350,061,589	333,145,473
昭和4年	756,452,865	366,259,253	337,162,752
昭和5年	785,393,553	386,176,463	266,283,896
昭和6年	855,183,066	419,897,509	236,332,172
昭和7年	897,585,490	442,160,435	228,111,703
昭和8年	1,242,836,641	617,312,398	270,558,191
昭和9年	1,093,401,376	538,238,505	285,086,268
昭和10年	1,002,745,119	486,537,553	303,098,843

第 2 表 (B)  
同 最近、10 年前、20 年前の 5 ケ年毎の平均値比較表

年 次	全 量(貫)	可 食 分 量(貫)	價 格(圓)
自 明 治 44 年 至 大 正 4 年	計 2,088,688,888 平均 417,737,778	1,002,887,822 200,577,564	496,052,821 99,210,564
自 大 正 10 年 至 大 正 14 年	計 2,980,958,804 平均 596,191,761	1,444,304,074 288,860,815	1,688,419,266 337,683,853
自 昭 和 6 年 至 昭 和 10 年	計 5,091,751,692 平均 1,018,350,338	2,504,146,400 500,829,280	1,323,187,177 264,637,435

第 3 圖 水産物生産高累年比較圖表



第 3 圖 説 明

- (イ) 大正 7 年は大體に於ては少し増加、右の内、汽船捕鯨漁獲物及養殖藻類が特に減少の爲總量に於て減少。
- (ロ) 大正 9 年は大正 8 年に比し全體に増加、特に汽船トロール漁獲物總量は前年の約 4 倍に増加。
- (ハ) 大正 13 年は貝類總量(沿岸漁獲物)に於て特に前年の約 20 %を減少。
- (ニ) 昭和 2 年は大體に於て小量増加、特に沿岸漁獲物中藻類が前年の約 3 倍の増加。
- (ホ) 昭和 8 年は前年より各種類共少量増加するため全量に著しき増加を示す。

第 3 表 内地に於ける食用水産物生産高明細表

(其 1)

項目	年 次	明 治 44 年
番號		全 量 貫
1	魚類總量(沿岸漁獲物)(附 i)	279,587,748
2	貝類總量(沿岸漁獲物)(附 ii)	20,635,526
3	其他の水產動物(沿岸漁獲物)(附 iii)	26,186,084
4	藻類總量(沿岸漁獲物)(附 iv)	12,288,314
5	養殖魚類總量(附 v)	720,734
6	養殖貝類總量	7,906,782
7	養殖藻類總量	1,867,156
8	内地沖合遠洋漁獲物總量	11,415,445
9	汽船トロール漁獲物總量	—
10	汽船捕鯨漁獲物總量	—
11	母船式鮭鱈漁業漁獲物總量(附 vi)	—
12	母船式蟹漁業漁獲物總量(附 vii)	—
	合 計	360,607,789
		172,873,639
		88,443,454
項目	年 次	大 正 元 年
番號		全 量 貫
1	魚類總量(沿岸漁獲物)(附 i)	314,001,055
2	貝類總量(沿岸漁獲物)(附 ii)	22,137,778
3	其他の水產動物(沿岸漁獲物)(附 iii)	34,754,152
4	藻類總量(沿岸漁獲物)(附 iv)	14,424,080
5	養殖魚類總量(附 v)	992,718
6	養殖貝類總量	8,176,459
7	養殖藻類總量	2,403,970
8	内地沖合遠洋漁獲物總量	12,608,641
9	汽船トロール漁獲物總量	—
10	汽船捕鯨漁獲物總量	—
11	母船式鮭鱈漁業漁獲物總量(附 vi)	—
12	母船式蟹漁業漁獲物總量(附 vii)	—
	合 計	409,498,803
		197,001,372
		94,005,157
項目	年 次	大 正 2 年
番號		全 量 貫
1	魚類總量(沿岸漁獲物)(附 i)	357,580,104
2	貝類總量(沿岸漁獲物)(附 ii)	22,297,434
3	其他の水產動物(沿岸漁獲物)(附 iii)	40,756,960
4	藻類總量(沿岸漁獲物)(附 iv)	14,907,039
5	養殖魚類總量(附 v)	1,021,150
6	養殖貝類總量	7,199,668
7	養殖藻類總量	2,240,468
8	内地沖合遠洋漁獲物總量	17,274,148
9	汽船トロール漁獲物總量	—
10	汽船捕鯨漁獲物總量	—
11	母船式鮭鱈漁業漁獲物總量(附 vi)	—
12	母船式蟹漁業漁獲物總量(附 vii)	—
	合 計	463,076,971
		224,161,156
		110,404,813





### 第三節 水產物輸出高累年比較

水產食糧を内地に於て消費する量が鳥獸肉と比較し特に多いのは前述の如くであるが、更に輸出水產物に使用する原料の莫大なるに鑑みると、如何に我國水產食糧の生産に餘裕のあるかを示すものである。

我國より外國へ輸出する水產物の價額は明治 44 年の 1,200 萬圓を最底とし、以後累年增加の傾向を示し、昭和 10 年に於ては 8,600 萬圓、昭和 11 年度は 1 億萬圓を突破した。

輸出水產物の主なるものは昭和 10 年度に就て見るに、蟹罐詰 2,000 萬圓、鮭鱈罐詰 1,600 萬圓、鮪罐詰 550 萬圓、鮪魚粉 500 萬圓、鮪罐詰 500 萬圓、寒天 400 萬圓、乾鯛 250 萬圓、昆布 300 萬圓、鮪油 280 萬圓、乾貝柱 200 萬圓等である。

輸出する水產物を原料量に換算すると、明治 44 年の 10,200 萬貫を最小とし、昭和 10 年の 42,200 萬貫を最大とする。

第 4 表 (A)

水產物輸出高累年比較表

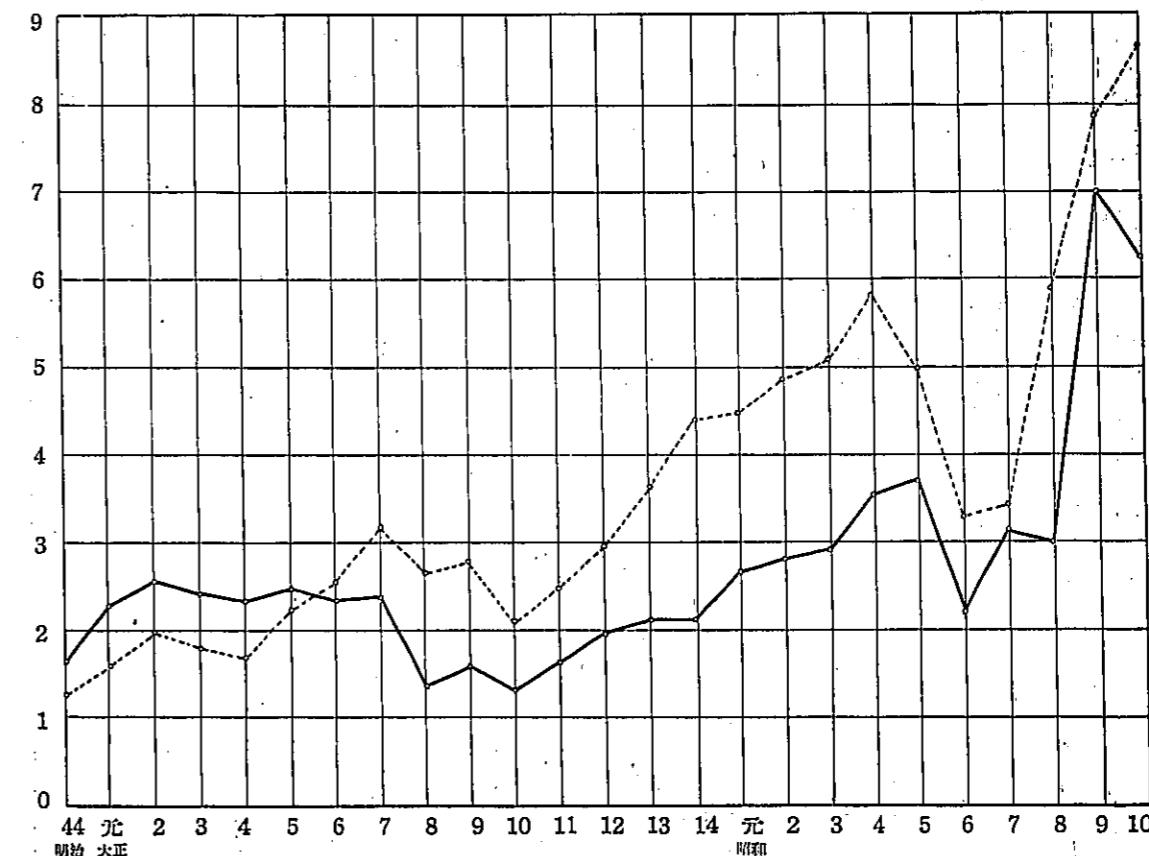
年次	全量(貫)	可食分量(貫)	價格(圓)	原料(貫)
明治 44 年	16,458,083	15,667,740	12,472,292	102,153,700
大正元年	22,702,475	21,596,059	15,921,188	139,549,916
" 2 年	25,524,348	24,349,092	19,934,242	167,458,064
" 3 年	24,008,496	22,885,984	17,823,116	149,315,616
" 4 年	23,274,517	22,037,529	16,880,182	140,171,905
" 5 年	24,618,979	23,124,776	22,227,805	148,168,314
" 6 年	23,249,083	21,796,459	25,236,922	135,692,388
" 7 年	23,863,046	22,779,778	31,938,554	147,954,228
" 8 年	13,588,492	12,621,969	26,452,000	75,401,749
" 9 年	16,021,876	14,991,265	27,781,000	92,899,834
" 10 年	13,197,092	12,415,736	20,670,000	70,363,226
" 11 年	16,205,136	15,304,714	24,874,000	94,909,050
" 12 年	19,626,824	18,802,334	29,602,000	114,907,928
" 13 年	21,149,836	19,929,679	36,163,000	127,358,293
" 14 年	21,007,004	19,787,946	44,040,000	126,581,270
昭和元年	26,858,220	25,632,525	44,871,000	167,819,031
" 2 年	28,257,396	26,845,289	48,677,000	193,349,097
" 3 年	29,207,184	27,544,791	50,775,000	196,846,254
" 4 年	35,427,008	33,127,616	57,986,000	217,694,801
" 5 年	37,179,008	34,801,457	49,680,000	242,048,719
" 6 年	21,929,024	20,058,952	32,791,000	117,549,452
" 7 年	31,537,120	30,120,688	34,334,095	205,536,926
" 8 年	30,100,537	28,031,416	58,829,772	144,639,557
" 9 年	70,470,949	68,440,330	78,708,309	391,726,932
" 10 年	62,298,112	59,611,236	86,493,026	422,409,120

第 4 表 (B)  
同 最近、10 年前、20 年前の 5 ケ年毎の平均値比較表

年次	全量(貫)	可食分量(貫)	價格(圓)	原料(貫)
自 明 治 44 年 至 大 正 4 年	計 111,967,919 平均 22,393,584	106,536,404 21,307,281	83,031,020 16,606,204	698,649,201 139,729,840
自 大 正 10 年 至 大 正 14 年	計 91,182,892 平均 18,237,178	86,240,409 17,248,082	155,349,000 31,069,800	534,119,767 106,823,953
自 昭 和 6 年 至 昭 和 10 年	計 216,335,742 平均 43,267,148	206,262,622 41,252,524	291,156,202 58,231,240	1,281,861,987 256,372,397

第 4 圖 水產物輸出高累年比較圖表

(明治 44 年～昭和 10 年) 實線……數量(單位千萬貫)  
點線……金額(單位千萬圓)



第 4 圖 說明

(イ) 水產輸出額は累年増加の傾向を示す。但し大正 8, 9 年及び昭和 6, 7 年に於てのみ減少。

(ロ) 大正 8, 9, 10 年の減少は歐洲大戰の影響による外國の購買力が減少したる結果である。

(ハ) 昭和 6, 7 年の減少は世界的經濟不況に依る各國の購買力の減少、金價禁に依る爲替相場の暴騰、銀の下落、各國の輸入制限、日貨排斥等が影響したる結果である。

第5表 水産物輸出高明細表(其1)

項目	年次			明治44年			大正元年			
	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	原料(t)
番號	6,914,225	6,914,225	1,291,487	44,942,463	9,883,865	1,886,471	64,245,123			
1 周鮮 魚類	223,253	89,301	189,877	223,253	298,828	119,531	221,725	298,828		
2 布介										
3 他										
4 鮎										
5 其他										
6 鮎鮭										
7 其他鮭										
8 前乾										
9 貢乾										
10 其他乾										
11 乾										
12 其他乾										
13 蟹										
14 鱗										
15 海鹽										
16 海鹽										
17 海鹽										
18 寒鮓及燙詫食料品										
19 蟹										
20 鮎										
21 鮎鮭										
合計	16,458,083	15,667,740	12,472,292	102,155,700	22,702,475	21,596,059	15,921,188	139,549,916		

第5表 水産物輸出高明細表(其2)

項目	大正2年			大正3年			大正4年				
	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	原料(t)	
番號	9,401,203	9,401,203	2,040,822	61,107,820	9,335,737	1,922,222	60,682,291	9,144,188	1,950,961	59,437,222	
1 253,445	101,378	189,887	233,445	331,064	132,426	209,068	331,064	175,574	205,499	438,934	
3 2,950,882	2,891,864	4,404,234	14,754,410	3,438,804	3,370,028	3,590,442	17,194,020	2,713,741	2,659,466	2,679,239	
4 1,324,630	1,258,339	604,858	5,298,520	1,398,843	1,328,901	1,204,056	2,516,222	911,376	865,807	401,569	
5 437,876	350,301	212,809	1,751,504	526,058	503,246	324,891	2,516,222	294,798	185,920	1,473,688	
6 966,795	725,096	290,621	1,353,513	642,779	482,084	212,135	899,891	1,270,545	952,909	1,778,763	
7 657,264	492,948	215,322	920,170	822,096	616,572	246,661	1,150,934	823,725	617,794	269,171	
8 523,881	523,881	491,418	2,357,465	606,142	606,142	566,754	2,727,639	732,067	578,055	1,153,215	
9 109,820	109,820	453,380	549,100	128,628	128,628	533,999	643,140	96,606	96,606	383,030	
10 21,382	30,019	213,820	31,113	31,113	47,467	311,130	31,109	43,787	311,090		
11 408,521	403,521	1,112,779	817,042	389,065	399,065	1,162,833	798,130	393,413	393,413	786,826	
12 135,045	195,045	229,613	682,658	179,437	179,437	229,998	628,030	220,316	220,316	246,334	
13 377,915	377,915	594,749	1,511,660	389,291	389,291	604,070	1,557,164	359,819	359,819	481,372	
14 110,883	33,265	268,055	549,100	128,628	92,992	210,156	223,181	99,922	99,922	222,646	
15 142,159	142,159	468,362	2,032,874	168,995	168,995	614,066	2,416,629	162,340	162,340	580,267	
16 31,603	31,603	143,279	176,977	38,190	38,190	177,528	213,864	37,829	37,829	162,007	
17 364,432	364,432	1,773,739	1,202,626	371,924	371,924	1,856,695	1,227,349	352,418	352,418	1,707,054	
18 193,434	193,434	1,468,551	862,757	229,746	229,746	1,471,858	998,896	331,299	331,299	1,578,780	
19											
20 ハニ	311,553	93,770	1,112,687	86,946	86,946	327,817	271,706	477,381	477,381	1,165,222	
21 ハニ	90,001	322,850	281,253	127,019	127,019	216,435	282,264	47,168	47,168	1,704,932	
合計	25,524,348	24,349,092	19,934,242	167,458,064	24,008,496	22,885,984	17,823,116	149,315,616	23,274,517	22,037,529	16,880,132

第5表 水產物輸出高明細表(其3)

大正5年			大正6年			大正7年			
番號	全量(t)	可食分量(t)	價格(t)	全量(t)	可食分量(t)	價格(t)	全量(t)	可食分量(t)	價格(t)
1	8,775,903	8,775,903	2,460,648	57,043,370	57,043,370	2,833,342	54,647,392	12,147,856	4,454,000
2	646,159	253,464	244,904	646,159	—	—	670,860	542,096	589,000
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	2,415,330	2,367,023	3,067,560	12,076,650	3,105,285	4,129,606	15,843,290	1,621,680	1,589,246
5	1,418,276	1,347,362	703,298	5,673,104	1,448,091	1,375,686	1,064,256	5,792,364	3,147,000
6	1,908,575	1,431,431	696,497	2,672,005	1,575,010	1,181,212	146,570	134,834	1,254,942
7	652,324	489,243	276,934	913,254	845,344	846,792	733,182	732,848	72,757
8	753,388	753,388	576,648	3,390,246	607,412	542,584	2,733,354	418,336	313,752
9	110,583	110,583	42,995	552,915	69,427	394,819	347,195	91,344	307,696
10	59,625	59,625	9,639	56,625	85,677	85,677	85,677	49,328	740,000
11	409,310	409,310	1,134,283	818,620	160,512	844,545	321,024	122,000	493,280
12	240,912	240,912	276,616	831,192	173,073	286,339	605,756	105,024	1,194,900
13	357,115	357,115	556,008	1,428,460	257,800	554,165	1,031,200	241,096	105,024
14	108,950	133,518	28,814	254,152	296,707	125,989	34,000	421,494	246,096
15	200,729	200,729	820,771	2,870,425	114,847	636,283	1,642,312	156,480	121,920
16	47,462	47,462	221,124	265,787	44,256	249,532	247,834	46,912	328,000
17	—	—	—	—	—	—	—	—	262,707
18	445,714	445,714	2,446,862	1,470,856	337,111	1,954,983	1,112,466	422,320	2,969,000
19	566,599	566,599	3,305,325	2,453,474	674,809	4,454,747	2,933,952	577,116	1,393,656
20	4,905,894	4,660,599	3,384,579	52,329,540	—	—	—	—	—
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	24,618,979	23,124,776	22,227,805	148,168,314	23,249,083	21,796,459	25,236,922	135,692,388	23,863,046
									22,779,778
									31,938,554
									147,954,228

第5表 水產物輸出高明細表(其4)

大正8年			大正9年			大正10年			
番號	全量(t)	可食分量(t)	價格(t)	全量(t)	可食分量(t)	價格(t)	全量(t)	可食分量(t)	價格(t)
1	5,899,184	5,899,184	3,004,000	38,344,696	8,009,120	4,072,000	52,059,280	7,696,672	4,135,000
2	432,640	173,056	72,900	432,640	549,168	219,667	549,168	412,736	619,000
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	569,632	558,239	2,346,000	2,848,160	876,976	859,436	2,998,000	618,208	605,844
5	1,141,520	1,084,444	1,720,000	4,566,080	970,224	921,713	1,607,000	660,888	627,654
6	970,384	117,914	256,000	589,568	89,840	71,872	159,000	359,360	81,370
7	737,024	552,758	857,000	1,358,538	1,436,224	1,077,168	1,028,000	2,010,714	1,030,416
8	259,824	259,824	676,000	1,349,208	227,344	227,344	558,000	442,080	305,648
9	71,632	71,632	736,000	358,160	88,416	88,416	718,000	118,320	876,000
10	45,504	45,504	138,000	455,040	49,456	49,456	157,000	494,560	244,008
11	96,080	96,080	1,022,000	192,160	192,160	192,160	1,320,000	385,696	252,928
12	88,416	88,416	258,000	309,456	121,488	121,488	370,208	425,208	100,688
13	197,264	197,264	728,000	789,056	153,712	153,712	691,000	614,848	152,928
14	145,104	43,531	661,000	348,250	126,304	37,891	588,000	303,130	162,624
15	100,288	100,288	1,304,000	1,434,118	103,472	103,472	1,149,000	1,479,650	113,456
16	54,176	54,176	441,000	303,386	35,776	35,776	349,000	200,346	47,424
17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	241,152	241,152	2,053,000	795,802	150,848	150,848	1,428,000	497,798	274,800
19	362,916	362,916	3,929,000	1,577,896	309,060	309,060	4,019,000	1,348,739	306,000
20	1,611,248	1,530,681	3,042,000	17,186,650	1,994,608	1,894,878	3,389,000	21,275,820	303,968
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	13,588,492	12,621,969	26,452,000	75,401,749	16,021,876	14,991,265	27,781,000	92,899,834	13,197,092
									20,670,000
									70,363,226

第5表 水産物輸出高明細表(其5)

大正 11 年			大正 12 年			大正 13 年		
番號	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	原料(t)	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	原料(t)
1	7,978,880	7,978,880	3,946,000	51,862,720	10,441,648	10,441,648	4,647,000	67,807,112
2	334,304	133,722	574,000	334,304	401,840	160,736	570,000	401,840
3	994,480	974,590	3,229,000	4,972,400	2,864,240	2,866,955	6,546,000	14,321,200
4	838,000	796,100	3,352,000	757,696	719,811	908,000	3,030,784	1,094,224
5	92,758	74,214	174,000	371,072	106,336	85,069	425,344	129,216
6	1,541,360	1,156,020	804,000	2,157,904	752,656	564,492	405,000	1,053,718
7	162,992	122,244	156,000	228,189	492,000	369,000	451,000	688,800
8	408,048	408,048	861,000	1,836,216	429,296	429,296	964,000	1,931,832
9	95,216	95,216	838,000	476,080	86,208	86,208	849,000	431,040
10	—	—	—	—	—	—	—	—
11	279,472	279,472	1,683,000	558,944	230,368	230,368	1,834,000	460,736
12	150,672	150,672	430,000	527,352	140,288	140,288	379,000	491,008
13	169,472	169,472	665,000	677,888	177,104	177,104	721,000	708,416
14	125,440	37,632	483,000	301,056	98,496	29,549	448,000	236,390
15	98,736	98,736	784,000	1,411,925	78,336	587,000	1,20,205	1,20,205
16	35,216	35,216	412,000	197,210	32,032	383,000	179,379	25,776
17	—	—	—	—	—	—	—	—
18	183,680	183,680	1,893,000	606,144	254,832	254,832	3,529,000	840,946
19	387,396	387,396	4,374,000	1,684,350	373,932	373,932	3,956,000	1,625,791
20	1 口	—	—	—	—	—	—	—
21	二 口 ハニ ホ ベ ト チ リ	—	—	—	—	—	—	—
合計	16,205,136	15,304,714	24,874,000	94,909,050	19,626,824	18,802,334	29,602,000	114,907,928

第5表 水産物輸出高明細表(其6)

大正 14 年			昭和元年			昭和 2 年		
番號	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	原料(t)	全量(t)	可食分量(t)	價格(円)	原料(t)
1	7,120,992	7,120,992	3,579,000	46,286,448	10,623,968	10,623,968	4,226,000	69,055,792
2	634,360	253,984	997,000	634,960	492,752	197,101	728,000	492,752
3	3,239,968	3,175,169	16,199,840	3,557,696	3,437,542	7,029,000	17,538,480	2,454,384
4	1,096,432	1,041,610	1,363,000	4,385,728	1,490,704	1,406,659	1,734,000	5,922,816
5	245,408	196,326	394,000	98,632	227,504	182,003	352,000	207,088
6	433,008	324,756	298,000	606,211	972,992	729,744	563,000	1,362,189
7	1,093,152	819,864	735,000	1,530,413	602,064	451,548	434,000	843,890
8	491,264	491,264	1,137,000	2,210,688	772,864	1,506,000	3,477,888	815,184
9	77,664	959,000	388,320	80,128	80,128	851,000	400,640	1,007,648
10	—	—	—	—	—	—	—	77,104
11	296,960	296,960	2,517,000	593,920	293,168	2,164,000	586,336	—
12	187,280	187,280	569,000	655,480	200,448	200,448	579,000	701,568
13	178,640	178,640	716,000	714,560	160,176	160,176	644,000	640,704
14	122,176	36,653	650,000	293,222	117,680	35,304	570,000	282,432
15	99,136	99,136	1,086,000	1,417,645	10,048	100,048	932,000	1,430,686
16	31,104	31,104	370,000	174,182	27,280	27,285	293,000	152,768
17	—	—	—	—	—	—	—	—
18	343,648	343,648	5,883,000	1,134,038	288,976	288,976	3,742,000	933,621
19	984,708	984,708	10,059,000	4,281,339	1,273,572	1,273,572	12,517,000	5,537,270
20	4,046,320	3,844,004	4,127,000	43,160,750	5,284,288	5,020,074	4,485,000	5,365,740
合計	21,007,004	19,787,946	44,040,000	126,581,270	26,855,220	25,632,525	44,871,000	167,819,031

28,257,396 26,845,289 48,677,000 193,349,097